

# シティ・ミーティング・(ワイ！ワイ！Gikai)で出された主な意見

【都市・環境常任委員会】

日時: 令和4年11月8日(火)

場所: 海星高等学校

	高校生	委員
<b>テーマ: 中心市街地について</b>		
1	JRが地下鉄化されたらいいと思う。遮断機が下りている時間が長くて困っている。	JRを跨ぐ高架を作る計画もあったが、なくなった。現在は港までの導線を作る計画を立てている。
2	tonarieからあすなろう四日市駅までが遠く、歩いて移動すると時間がかかるので改善してほしい。	あすなろう四日市駅の前に円形デッキができるので、利便性は良くなると考えられる。
3	近鉄四日市駅前の再編について、街のデザインはどのように決めているのか。	統一的な基準はない。例えば、円形デッキに関してなど個別の案件で市民意見を聞くことはあるが、再編の全体について市民意見を聞くことはない、課題として認識している。
4	現在の近鉄四日市駅周辺は時代が止まっているように感じる。商店街は日光があまり入らないので暗い。白や緑など明るい色が少なく、また、商店にガラスが少ないので中に何があるか見えない。視覚的にも活気としても、街に明るさがないと感じる。	ご意見として賜る。
5	近鉄四日市駅周辺がバスタなどで新しくなると聞いたが、商店街は新しくならないのか。路地に入ると建物自体が古く、地震などの災害時に崩れないか不安がある。	近鉄四日市駅からJR四日市駅までの中央通り沿いはにぎやかになると思う。一方で、商店街は個人事業主が多く、事業主の年齢、店舗の形態や状況もさまざまであるため、今後も行政が商店街を支援していくにしても、一斉に商店街の整備を進めるのは難しい。商店街の皆さんと行政が話し合いをして、アイデアを出し合いながら、必要な費用に対して市が補助を行っていくことになる。行政に対して意見を伝えることも議員の仕事である。
6	円形デッキから四日市の街並みが見えるといいと思う。	現在の計画では、円形デッキから街並みが見渡せる。
7	四日市にこんなものがあればいいと思うものはあるか。今回の近鉄四日市駅等周辺整備では、JR四日市駅までの道ができる予定である。	それはとてもうれしい。友人と四日市で遊ぶときに、JR四日市駅と近鉄四日市駅との間で何本も道を横断しなければならず、距離が長い上に時間がかかっていたため、とても楽しみに感じる。
8	名古屋は色々なものが華やかで、三重県内でも津駅の周辺の通りは木々もきれいに並んでいる。四日市もきれいになってほしい。	自分達は今の四日市がを当たり前と感じてしまうが、学生などの若い人が今の四日市で遊んだり、生活で使う上で感じる意見は、議員としては非常にありがたいものである。学生の皆さんがわくわくするようなまちづくりをしていきたい。
9	スケートボードパークを利用していたが、今後は取り壊されてしまうのか教えてほしい。	社会実験では、スケボーパークがどれほど稼働するかのデータ収集していた。今後についてはそのデータと集まった意見を元に検討していく。
10	スケートボードパークは現在の場所に完成するのか。	現時点では未定である。
11	夜になるとスケートボーダーが現れて怖い思いをしているが、スケートボードパークが設置されてスケートボーダーが減って快適になった。また、現在の商店街は若者が遊べる場所になっていない。さらに、近鉄四日市駅とJR四日市駅間は徒歩だと距離が長く移動しづらいので、簡単でお金がかからない移動手段がほしい。	ご意見として賜る。
12	スケートボードパークに行ったが、たくさんの人がいて驚いた。	今後もスケートボードを続けていくかどうかは決まっておらず、なくなってしまうことで、周辺の道路でスケートボードをする人が多くなるということも聞いており、さまざまな意見や情報を議会から行政に伝えていく。
13	スケートボードをする場所がないので、近鉄四日市駅周辺にスケートボードパークを整備してほしい。	中央通りの再編は、国のお金も含めて多くの予算をかけて整備が予定されているが、具体的な内容はこれから決めていく。皆さんの意見が反映されることもある。時代とともに認識が変わり、多くの方がスケートボードをするようになり、理解が進んできたことで、先日の社会実験が行われた。意見を届けることによって状況が変わっていくと考えている。
14	新しく計画されている図書館に自習室はあるのか。	自習室など具体的な部分はまだ検討されていない。今の図書館も残してほしいとの意見もあるので、自習室だけを今の場所に残す可能性もある。新図書館に新設する可能性もある。
15	四日市市に名古屋市に負けない何かを作してほしい。昔は色んな商店があったと聞くが、どうしてなくなってしまったのか。	名古屋市と比べて人が集まらないことが原因だと考えられる。普通の都市はなるべく郊外に人が分散しないように街を作るが、四日市市の場合は、四日市公害の影響で中心市街地に住宅を集める作りにできなかった経緯がある。そのため、川島地区、桜地区、県地区のような郊外に大規模な団地ができた。住居が分散してしまったことが要因だと考えられる。
16	街中にストリートバスケットボールができる場所を作してほしい。	今回、実証実験でスケートボードパークを作ったが、バスケットボールができる場所がほしいという意見もあったことを市へ伝えたい。
17	近鉄四日市駅近くにある喫煙所の場所を移動してほしい。駅を出ると、すぐに目に入ってしまふ。	31万人の市民には、タバコが嫌いな人、タバコが吸いたい人、様々な人がいる。両方の意見を聞いた上での今の形になっているが、行政が何が最適かを考えるために、意見を伝えることは議会の役割であると考えている。
18	アイススケートリンクを造ってほしい。	昔は市内にもスケートリンクがいくつかあったが、現在は行政が税金を使って造ることは難しい。
19	四日市市に流行の服を買う店舗がなく、インターネットで購入している。長島のアウトレットモールのような店があると若者も行くと思う。	ご意見として賜る。
20	近鉄四日市駅周辺に駐輪場がなく困っている。	市民公園の都ホテル前の駐輪場が問題となったため、別の場所に駐輪場を用意したが、そこまで距離が離れていることもあり、駐輪禁止となった今でも自転車は減らない。今回の再編で自転車の通る道と駐輪場を整備してもらうように進めているので、今後に期待していただきたい。
<b>テーマ: 公共交通について</b>		
21	自宅の最寄りのバス停は、運行本数が30分や1時間に1本しかない。行きは良いが、帰りは家族に送迎をお願いしなければならず、使いづらい。	利用者がすくなければ、運航会社は運行本数を増やしていく。現状が使いづらく、通勤・通学での利用が増えれば利便性は向上するが、それが増えないため一向に改善されないというジレンマがある。車を運転しない市民の交通手段を守ることは、公共交通の政策の重要な部分だと考える。

	高校生	委員
22	あすなろう鉄道を廃線にした場合、利用者はどうなるのか。代替の交通手段はあるのか。	仮にあすなろう鉄道を廃線にした場合、学生や免許返納後の高齢者などの交通弱者が一番影響を被る。税金を投入している以上、公平性の観点から、利用していない市民の意見も考慮しなければならない部分はある。そういった廃線の賛成派、反対派の双方の市民の意見を広く集める必要がある。それが議員の仕事であると考えている。
23	学校から塩浜駅までのバスの本数を増やしてほしい。	バス会社としても利用者の少ない不採算路線廃止せざるを得ない状況があるが、廃線にしたときの市民への影響が大きい路線については、市が補助をして存続している事例もある。
<b>テーマ : その他について</b>		
23	駅前再開発は、活発に出歩く若者に向けた取り組みだと感じるが、それとは別に高齢者にも何か取り組みはしているのか。身近な高齢者は、「もっと若者と関わりたい」と言っている。高齢の方とお話すると、自分たちの世代が普段は聞けないような昔の話を聞けて、新しい発見がある。もっと若者が高齢者と関われる機会があればいいと思う。	高齢者への施策はハード面より介護サービスの充実などのソフト面で対応することが多い。若者と高齢者の交流機会を設けることは、行政が取り組むべき重要な課題だと考える。ただ放っておくだけでは、若者と高齢者の関わる機会は生まれないので、行政がその場を設けることが必要である。
24	「名古屋市民は四日市に興味がない」という広告を見た。	まちづくりというのは一筋縄ではいかない部分があり、公共交通機関の発達により市内に立ち寄る住民が減り、衰退する街もある。それと反対に、交通の便が良くなったことで、今まで来ることのなかった人が立ち寄ることもあり、課題と恩恵の両方が発生する。だから、まちづくりは難しい。
25	横断歩道を渡ろうと待っていても、自動車が停まってくれないことが多い。友達と一緒に手を挙げて意思表示するようにしている。手を挙げると大体は停まってくれる。	近年、三重県警も見張りを強化し、効果が出ていると聞く。運転手から歩行者を認識しにくい場所があった場合、皆さんから議員に教えてもらえると、それを行政側に伝えることにより、路面に「横断歩道注意」と標示してもらうなどの対策を行ってもらうこともできる。
26	四日市にサッカーなどのプロスポーツチームを誘致してほしい。そうすれば四日市に人も集まると考える。	現在、四日市はヴィアティン三重のバスケットボールチームとバレーボールチーム、女子ラグビーチームのパーلزとの連携は行っている。これまでも、野球やサッカーなどのプロチーム誘致の話は出たことはあるが、その競技を好きな人だけでなく、市民全体で誘致に向けて盛り上がる機運を作る必要がある。